

農山漁村地域整備計画における事後評価

■ 計画の概要

整備計画名	未来へつなぐ「ふるさとECHIGO」の地域づくり計画	計画策定主体	新潟県
対象市町村	新潟市 ほか20市町村	計画の期間	平成22年度～平成26年度
計画の目標	将来に亘って、魅力ある「ふるさとECHIGO」を目指すため、農村地域の生産基盤や農村環境整備を行い、集落機能を維持保全する		

■ 事後評価

対 象	地区数	全体事業費 (千円) (上段:計画 下段:実績)	主な事業内容	目標値の実現状況		
				目標値 (集落)	実績値 (集落)	達成 状況
用水の持つ多面的機能を発揮する事業	4	(515,050) 234,050	親水景観生態系利用保全工、魚道整備工、小水力発電設備等	332	332	全て維持
農業集落排水の整備を行う事業	43	(3,211,697) 3,101,599	管路工、処理施設工、機能診断、最適整備構想、調査・計画等	456	456	全て維持
中山間地域の生産基盤や生活環境基盤を整備する事業	48	(11,078,449) 9,433,363	区画整理、農業用排水路、農地保全、換地調整、調査・計画、農道整備等	265	265	全て維持
計	95	(14,805,196) 12,769,012		1,053	1,053	全て維持
進捗状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・延べ55地区について計画どおり事業が完了。 ・残りの地区についても目標達成に向けて事業を進めている。 						
事業効果の発現状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の用水が持つ多面的な機能を維持増進することで自然環境や景観が保全され、332集落の集落機能の維持に寄与した。 ・農業集落排水を整備することにより農村生活環境が改善され456集落の集落機能が維持保全されるとともに、公共用水域の水質保全が図られた。 ・農業生産基盤や生活環境基盤を整備し、農業・農村の活性化が図られることにより、265集落の集落機能の維持に寄与した。 						
目標値の実現状況						
<p>農業基盤整備や農村環境整備の実施により集落機能が保全されていることから、関係集落は全て維持されており、計画の目標が達成された。</p> <p>また、農山漁村地域整備金事業の実施が、農業振興地域内の汚水処理普及率の上昇(県全体で66.2%から74.0%と7.8ポイント上昇)や、緊急・介護車両のスムーズな運行が確保されていない集落の解消(県全体で57集落から91集落と34集落が解消)に寄与した。</p>						
今後の方針						
引き続き集落機能を維持保全していくために、計画期間を平成27年度～平成31年度とする農山漁村地域整備計画(2期)により、県、関係市町村、土地改良区などで円滑な事業執行の体制を取りながら、農村地域の生産基盤や農村環境の整備を進める。						

※事業費には農山漁村地域整備交付金以外の事業費も含んでいる